

2024 年 4 月吉日

PRESS RELEASE



Oil painting
Sculpture
Industrial design
Photograph
etc...



川崎市市制100周年記念展

生命の交歓 岡本太郎の食

The Communion of Life: Taro Okamoto and Eating

2024.4.27 sat — 7.7 sun

主 催 | 川崎市岡本太郎美術館 開館時間 | 9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館日 | 月曜日(4月29日、5月6日、7月1日を除く)、5月7日(火)、5月8日(水)、7月2日(火)
観覧料 | 一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下は無料
()内は20名以上の団体料金

【図版左上から】

《樹霊I》1970年 FRP / 《はなたか》1987年 陶 / 《水差し男爵》
1977年 ガラス / 《味》1988年 陶 / 《しっほ》1981年 陶 / 《メルカ
ド・メティシノス 果物市場》1967年 セラチンシルバープリント /
《飲喜》1977年 陶 / 《人間ボトル》1985年 陶 / 《ティーテーブル
遊び》1967年 合板、金属



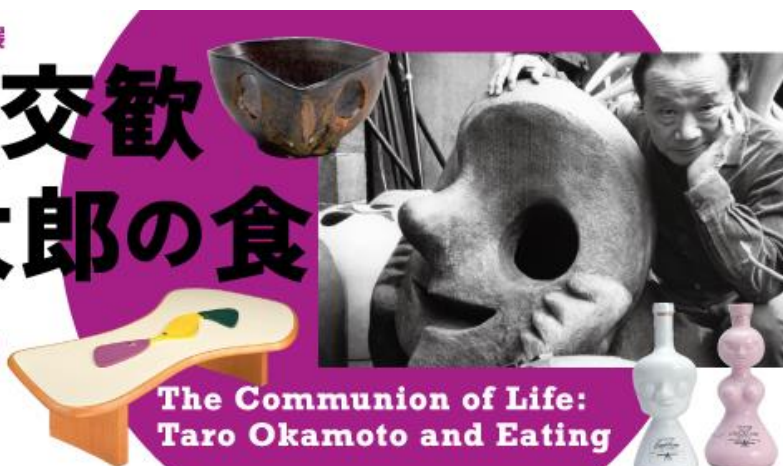
川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki



川崎市市制100周年記念展

生命の交歓 岡本太郎の食

2024.4.27 sat
—— 7.7 sun



The Communion of Life:
Taro Okamoto and Eating

「生きものが生きものを食べるのは、まさに生命の交歓である。」(※)

岡本太郎にとって「食」とは、味わうことや、栄養をとるということだけではなく、食べる者と食べられる者との生命と生命のぶつかり合いであり、闘いとった生命を自身の身体に取り込む喜びであると考えました。また、芸術は生活と一体であるべきと考えた岡本は、食卓などの家具やティーポットやグラスといった食器など、食の場で使われ生活にいろどりを与える作品の数々を制作しました。さらに岡本は、書を絵付けした大皿や顔のある茶器など、岡本独自の感性とユーモアあふれる陶芸作品も手がけています。岡本はまた、国内外の食文化や食を支える市場に興味を抱き、取材に訪れる先々の市場に出かけ、そこに住む人々の暮らしや活気あふれる市場の様子など数多く撮影しました。

本展では、「食」を切り口として、油彩、彫刻、陶器、インダストリアルデザイン、写真など、岡本太郎の多彩な作品を岡本の言葉とともに紹介します。さらに、両親の岡本一平・かの子と過ごした少年時代から、青年期を過ごしたパリ、そして戦後から晩年まで、岡本の食にまつわる資料を展示します。人生、芸術、そして食べることもまた闘いだと考えていた岡本太郎を「食」という視点から読み解く試みです。

(※ 岡本太郎「食べ物に挑む 私の食事観」『暮らしの設計』中央公論社、1974年)



01. 岡本太郎 ポートレート

開催概要

会 期 2024 年 4 月 27 日(土)～7 月 7 日(日)

会 場 川崎市岡本太郎美術館 企画展示室

休 館 日 月曜日(4 月 29 日、5 月 6 日、7 月 1 日を除く)、5 月 7 日(火)、5 月 8 日(水)、7 月 2 日(火)

観 覧 料 一般 900(720)円、高・大学生・65 歳以上 700(560)円、中学生以下は無料

※()内は 20 名以上の団体料金

主 催 川崎市岡本太郎美術館

同時開催 常設展「前衛たちの足跡 岡本太郎とその時代」 2024 年 4 月 18 日(木)～7 月 7 日(日)



みどころ

- 《森の掟》《愛撫》などの代表作品から、まとめて展示されることは少ない茶碗も含めた陶芸作品までが大集合！
- 日本の各地やメキシコなど、国内外の旅先で撮影した写真や収集品、行きつけのお店のグッズなど、様々な資料とともに太郎の食の軌跡をご紹介します。
- 父母の一平・かの子の作品も資料とともに展示します。岡本家の食に対するあくなき情熱をお届けします。
- 岡本太郎が得意な料理で、くりかえし雑誌や新聞に取り上げられたレシピも一挙公開！

展示構成

- 第 1 章：岡本太郎と岡本一平・かの子
- 第 2 章：パリ時代～戦後
- 第 3 章：生命の交歓
- 第 4 章：生活を彩る
- 第 5 章：岡本太郎の陶芸作品
- 第 6 章：旅と食 岡本太郎の写真

主な出品作品

- ・岡本太郎作品：油彩、彫刻、インダストリアルデザイン、陶器、岡本太郎撮影写真 他 約 200 点
- ・岡本太郎のプライベート映像、食に関わる資料など
- ・岡本一平、岡本かの子：作品・資料



07.



09.



10.



14.

* 作品クレジットはp.5 を参照ください。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：片岡、細川 広報担当：山内(pr@taromuseum.jp)

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枡形 7-1-5 生田緑地内

TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>





関連イベント

●TARO マルシェ at 生田緑地

4 年ぶりに TARO マルシェを開催！母の塔周辺でキッチンカーやテント販売を行います。音楽・アトラクションステージやワークショップなどと一緒に、さまざまに美味しい「食」を体験ください。

日 時：4 月 28 日(日) 11:00～16:00（荒天時中止）

会 場：母の塔周辺



【出店・出展予定】

キッチンカー・フード販売

TAG WAGON(静岡産素材使用したボウル、サンド、ご当地サイダー) / ウー・カバーヌ(キューバサンド、スープ) Ravi Ravi(クレープ) / HOT くる(ホットドッグ、あげぱん) / Maple One(ごはんサンド・台湾風唐揚げ丼) アークベーカーリー(パン) / 生田緑地共同事業体(焼いも) 他

アートマルシェ ★第 27 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)入選作家が出店

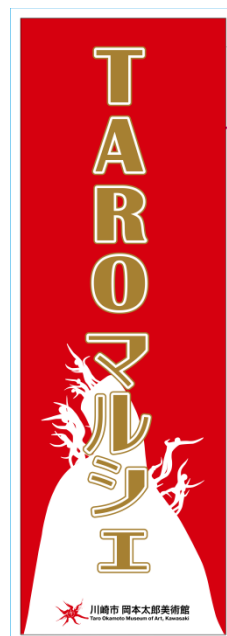
長雪恵/遅四グランプリ実行委員会/月光社/つん/野村絵梨/村尾かずこ

ワークショップ ★第 27 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)入選作家が出店

野村絵梨/村尾かずこ/相州雅屋(ランタン作り)/生田緑地共同事業体(ペーパークラフト)

ステージプログラム

日本女子大附属高等学校吹奏楽クラブ / 日本女子大附属高等学校コーラスクラブ
専修大学ア・カペラサークル「Emohill」(アカペラ) / イシタニタイジュ(鍵盤ハーモニカ・JAZZ)
Pífano Tóquio(ラテン) / 相州雅屋(殺陣演武・体験)



◀「TARO マルシェ at 生田緑地」ポスター
ビジュアル(左図)と「TARO マルシェ」のぼり旗(右)。
マルシェ会場となる母の塔広場を彩る。

PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

●パイラ人がやって来る？！

岡本太郎がデザインしたパイラ人がゴールデンウィークに現れます！

*パイラ人…映画『宇宙人東京に現わる』(大映/1956 年公開)に登場する宇宙人

日 時：4 月 27 日(土)～5 月 6 日(月) 10:00～16:30 (雨天中止)

会 場：カフェテリア TARO テラス席横



●カフェテリア TARO 企画展限定メニュー

☆展覧会記念限定メニュー

「岡本太郎が愛したカリフラワーとサラダチキンのペペロンチーノ」

☆毎日 10 食限定！TARO アフタヌーンティー

岡本太郎デザインのカップ＆ソーサーで特別なティータイムをお楽しみください。

期 間：6 月 1 日(土)～7 月 7 日(日)

時 間：11:00～(終了まで)

料 金：1,300 円(税込)

内 容：ドリンク、サンドイッチ、ケーキ、豆菓子



●ミュージアムショップ

展覧会と連携したグッズを販売します。

「炬ばた」(秋田・かおる堂)、ごまパン・糖餅(長崎・福建) 他



《夢の鳥》1977 年

●担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：5 月 26 日(日)、6 月 15 日(土)、6 月 30 日(日) 14:00～

会 場：岡本太郎美術館 企画展示室

料 金：無料(要観覧料)

申 込：不要。開始 5 分前に企画展示室にお集まりください。



その他、関連イベントは当館ホームページで随時お知らせします。

<https://www.taromuseum.jp>





「生命の交歓 岡本太郎の食」



02. 《森の掟》1950 年



03. 《夢の鳥》1977 年



04. 《人間ボトル》1985 年



05. 《いるか漁》1959 年



06. 《サカナ》1960 年



07. 《装える戦士》1962 年



08. 《樹霊 I》1970 年



09. 《歓喜》1977 年



10. 《水差し男爵》1977 年



11. 《ティーテーブル 遊び》1967 年



12. 《メルカド・メディシノス 果物市場》
1967 年



13. 《しっぽ》1981 年



14. 《味》1988 年



15. 《はなたか》1987 年